

編集後記

一橋大学大学院経済学研究科教育研究活動状況報告書は、経済学研究科および経済学部における教育・研究活動の状況を記録し、広く公開することを目的として、2年ごとに刊行されている。本報告書は、本研究科における教育・研究の活動状況を網羅的に記述しており、継続的に刊行することが重要である。

本報告書は第14号である。これまでの報告書の形式はほぼ一貫しており、第1部では主として過去2年間の本研究科の組織としての活動について報告し、第2部では教員個人の活動について報告する形式に定着している。本報告書もこの形式を踏襲し、項目等も前回の報告書に合わせてある。この本報告書の編集方針は、従前どおり、研究科長、評議員、評価委員会、編集スタッフから構成される編集会議において決定された。

第1部は、評価委員会が分担して統括し、必要に応じてそれぞれの活動に関係した教員の方々に執筆、あるいは原稿内容の確認を依頼した。データの収集については、事務職員および助手の方々にも協力していただいた。第2部では、本研究科に所属する各教員の教育および研究活動の成果について報告されている。項目はこれまでに確立されたものを基本とし、個々の項目の内容は各教員に自由に書いていただいた。

なお、本報告書におけるデータは、特に断り書きのない限り、2019年(平成31年)1月31日現在のものである。また、情報の電子化の進展に伴い、第8号から本報告書はWEBで公開しており、本号については印刷製本は行わず、WEB公開のみとした。

最後に、本報告書の作成にあたってご協力をいただいたすべての方々に、この場を借りて厚く御礼を申し上げたい。特に、執筆を快く引き受けていただいた教員の方々、業務多忙の中でデータの作成と提供をしていただいた教職員の方々、原稿の受付・編集・校正をはじめ様々な作業を円滑に進めていただいた助手の方々に心より感謝の意を表したい。

第1部執筆者 岡室博之(研究科長)、岡田羊祐、佐藤主光、西出勝正、竹内幹、富浦英一、
山重慎二、山下英俊、森宜人

評価委員会 佐藤主光(委員長)、西出勝正、富浦英一、山下英俊

編集担当 安齋壽美、岡田信子、小川佳子、人見麻巨、福嶋依子

2019年3月

一橋大学大学院経済学研究科評価委員会委員長
佐藤主光